

小海高等学校生活指導係発行

待望の夏休み近づく

間もなく、夏休みになります。4月の新学期から、約4ヶ月があつという間に過ぎ去って行きました。この1学期の間には、誠に有難いことに、重大な問題に発展するような事故、事件が極めて少なく、また、事が起こった場合でも冷静に対処、素直に反省、改善に至る生徒ばかりで、我が校の生徒諸君を頼もしく思います。

が、重ねて注意したいのは、やはり、この長期休業中の生活態度です。細かい決まりについては、懇談会、家庭訪問を通して保護者の方々にもお知らせし、同意を得ております。決まりの基本は、当たり前な事を、当たり前にしていれば、守られることばかりです。要は、楽しく過ごすため、有意義に過ごすため、安全で、健康で、健全に生活すれば良い、ということです。

羽目をはずしすぎず、適度に大胆に、冒険的に、学習、スポーツ、レジャー、家族とのつながり、友人関係を深めるなど、計画的に夏休みを過ごしてください。

特に外泊・深夜徘徊は絶対にしないという強い気持ちを持って頂きたい。碌なことがありません。

「君子、^{あや}危うきに近寄らず。」（「孟子」教養のある人は、自分の身を大切にして、^{つし}むやみに危険に近寄らない。余計な災難は受けたりしないように 慎むこと。）

保護者の皆様へ（重ねてのお願いです）

最後に指導できるのは担任でも生活指導係でもなく**家族**です

例えば、こんなやりとりになっていませんか？

（母）「外泊は学校で禁止されてるからいけないよ」

（本人）「みんなやってることだからだいじょうぶだよ」

（母）「前に、大きい事故があったじゃないか。やめたほうがいいよ」

（本人）「うっせえな。いちいち口出しすんな。」

「みんな」にごまかされないでください

この表現は以前にも掲載したことがあります。この状況では「全員」を意味しているのではありません。正確には「自分の周囲の人間の多くは」という意味のはずです。ですから、「みんなやってることだからだいじょうぶだよ」と言われて、ほとんどの人がやっているとは解釈するのではなく、本人の周囲の生徒はやっているかもしれないが、その他のほとんどの生徒はやっていないと解釈してください。

「うっせえな」で終わりにしないでください

自分の言い分がとおらないと、最後にはこの表現が出てくるのがよくあります。そこで終わると、自分の言い分がとおったとの誤解を与えたり、これを言えば親は黙るという認識を与えてしまう恐れがあります。

過去には、夏の外泊・深夜徘徊から大きな問題が発生したことが何回もありましたので、夏休みを目前にひかえ、「外泊・深夜徘徊を絶対させない」指導を再度お願い申し上げます。

祇園・花火大会でも巡回指導をおこないます

小海町・佐久穂町の祇園、野沢の花火大会など

梅雨が明ければ、いよいよ夏本番です。各地で夏祭りが催される予定になっています。お祭りの楽しい雰囲気に乗ってしまわないように気をつけてください。



